

令和 1年 12月 31日

2019 年度マクロ経済学試験範囲  
試験範囲

1. 生産・使用・資本金融・海外勘定および家計の所得支出勘定を理解し、現実の国民経済計算の数値から諸項目間の関係を計算できるようにしてください。ただし、平成30年度国民経済計算年次推計（支出側系列等）では資本勘定、家計所得勘定の最新データが欠けるので、貯蓄の諸概念（家計貯蓄、国民貯蓄、経常収支の相互関係）、家計現実最終消費や政府現実最終消費などの数値計算の出題をすることができません。これらの出題は「五者選択問題」の出題範囲と考えてください。

2. 「五者選択問題」の項目を列挙します。選択問題は択一ではなく複数正解の問題が含まれています。正答のほかに複数回答した場合は減点になります。ただし、誤答1問であれば減点の対象としません。なお、出題は以下23項目のすべてではなく、それらの一部が出題されます。

- (1) 国民経済計算
- (2) 家計の所得支出勘定、現物所得の再配分勘定、可処分所得の使用勘定など
- (3) 分配国民所得、国民調整可処分所得、現物社会移転
- (4) 日本経済の状態
- (5) 家計貯蓄の定義および貯蓄の動向など
- (6) 企業投資、生産の動向など
- (7) 企業の利益余剰金、富の配分など
- (8) 「45度線」図
- (9) 乗数過程
- (10) 税率、輸出入を含むマクロ市場均衡(利子率一定のケース)
- (11) 閉鎖経済の財市場
- (12) 閉鎖経済の貨幣市場
- (13) 閉鎖経済のマクロ市場均衡
- (14) 総需要曲線
- (15) 総供給曲線
- (16) 動学的総供給曲線、タイムラグ
- (17) 節約のパラドックス
- (18) 貯蓄と預金
- (19) 成長モデル
- (20) 利付債パーセントの定義式
- (21) 為替平価説
- (22) 三国間為替裁定条件
- (23) マーシャルラーナー条件